

# 青春まっくらく 18歳



今回は、郷ひろみの大ファンで、ほとんどのレコードを持っているという、本町の柳橋

恵さんの登場です。三月に高校を卒業して、社会人一年目、仕事には、もうなれましたか？

四月から、松尾の歯科医に勤めています。勤めだして、まだ一月なんで、今は、ただ夢中で仕事をしていきます。

松尾まで、車で通っているという恵さん。休日、どう過ごしているんですか？

木曜日と日曜日が休みなんです。両親と私の三人家族です。両親と私の三人家族です。

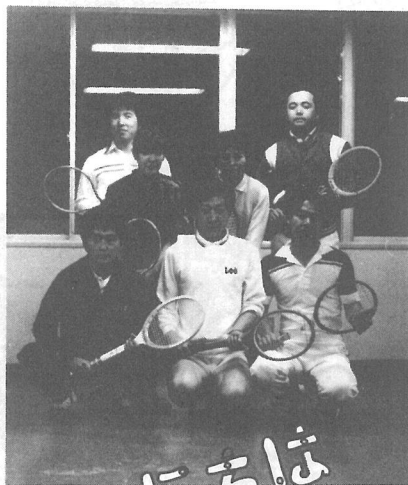
## アメリカへもう一度 柳橋 恵さん (本町)

族で、みんな働いているので、郷ひろみのレコードを聞きながら掃除や洗たく、日曜日は、友だちと買い物へ出かけたりしています。

高校時代は、弓道部に席をおき、関東大会にも出場したという腕前、今、行って見たい所、やってみたいことなどは？

「大きな土地とデイズニード——。二年前に行ったアメリカへ、もう一度行きたいですね。」

柳橋恵さん、十八歳。ただ今青春まっくらく！



## こんにちは

### グリーン・テニス・クラブ

若梅和之さん(栗山)、椎名敏彦さん(上町)らが中心となって、結成されたばかりという「グリーン・テニスクラブ」

「クラブを結成してテニスをす

ることで、たくさんの人たちとの交流を深め、また、テニスだけに「出会い」を大切に……

とどまらずに、いろいろな催しを行って、みんなとの「出会い」や

「つながり」を大切にしていきたいですね」と話す若梅さんと椎名さん。

同クラブのメンバーは、青空の下でプレーをする開放感や、テニスをしたあとの満足感、それに、手軽にできて健康づくりに役立つということから、ほとんどの人が、最近、テニスを始めたばかりだそうです。

「毎週、日曜日に、蓮沼のテニスカーテンで練習をしているんですが、みんな仕事を持っているので、全員が集まるのは少ないですね」と話す若梅さん。

出会いの場、健康づくりの場として、大きく発展するようにがんばってください。



▲木戸台付近の畑の中に建っている道祖神様

そうした故事に由来して、邪霊の浸入を塞(ふせ)ぐ神、道往く人を邪神悪霊から守る神、としての信仰が起り、その神の祭られている場所が、黄泉の国(彼の世)と此の世の境であるとされてきました。その後、中国大陸から境界を守る神としての道祖信仰が受け入れられ、その影響によって神を祭る場所が、村界や岐れ道、あるいは、橋の裾などとなってきたものといわれています。一方、道祖神の祭られている場所が、彼の世と此の世の界であり、祖先の神霊を迎え祭る犯し難い場所であるという思想は、根強く庶民の間の信仰として残っていました。そして、すべての悪疫災害も、この場所での神の力によって、送り迎えられるものと信じられていたのだといわれています。

そういわれてみますと、横芝町の場合を見ても、庚申様やその他の碑などが、耕地整理や道路改修により、今まで建っていた場所から、まったく異なった場所に祭られている場合が多いのにくらべ、道祖神の祠は、ほとんど元のままの場所か、あるいは、その近くの道端に祭られています。

足元から蛙が顔を出すような田んぼの細路に、空天にそびえ建つ鉄骨の楼下の草群の中に、あるいは、今はまったく廃道に等しい集落の裏道に、ひっそりとたたずむ道祖神の祠には、建立者の名称は勿論、建立の年号さえ刻まれていない素朴なものも多いのですが、その祠の一つ一つは、昔からの街道筋や村界などを、古老の口を借り、または、存在する場所によって私たちに教えてくれているのです。

○写真は、木戸台付近の畑の中に建っている道祖神様で、左側に見える道路は、木戸台本集落から多古県道に連なり、手前に戻ると、このシリーズ六十で紹介した、追分けの昔を語る「道しるべ」が建っている町原の四つ角で、その道標が「この道は、昔の多古佐原道である」ことを示しています。案内図は割愛させていただきます。

つづく

横芝町文化財審議会委員  
小沢春光さん寄稿